

高松市とハローワーク高松で支援ニーズに合わせた予約相談によりコロナ禍を乗り越える！

高松市

- ✓ 支援対象者の選定。
- ✓ ハローワークへの誘導、同行支援。
- ✓ 自立支援プログラムの実施(就労支援プログラム)。
- ✓ 生活や福祉に関する相談。

✓ 緊急事態宣言時、ひとり親家庭など学校の休校により来所できない対象者へ求人票の郵送。

✓ 雇用吸収力の高い介護・建設・警備などの人材不足分野の求人情報の提案。

✓ コロナ禍により通常の相談に比べ、心理面に配慮した職業相談やカウンセリングができるように、キャリアカウンセラーや精神保健福祉士、公認心理師などによるきめ細やかな支援を実施。

ハローワーク高松

- ✓ 予約担当制による個別支援。
- ✓ 職業相談、職業紹介、職業訓練の案内。
- ✓ 求人情報の提供。
- ✓ 就職決定後の職場定着のフォローアップ。



連携の結果...

令和2年度
目標達成！

効果
(結果等)

①支援対象者数

目標200人→実績307人

②就職者数 就職率79.2%

目標134人→実績243人

* 毎年8月、ひとり親就労サポートのため、市・子ども家庭課フロア内にHW臨時相談窓口を開設(4日間)。令和2年度は感染防止対策の観点から中止。

【市】

生活保護、生活困窮、ひとり親家庭とそれぞれの課題を踏まえた、きめ細かいサポートをチームで行うことにより、一般の方より高い就職率を維持し続けている。

【HW】

予約担当制でじっくり相談ができるため、複合的な問題を抱える対象者にとって利便性が高く、市とハローワークで効果的なチーム支援ができており双方の強みが生かしている。

双方
の声

新型コロナウイルス
感染拡大の影響で相談急増

市との連携により、生活困窮者等の支援を強化！

高崎市

新型コロナウイルス感染症の影響により、住居確保給付金、総合支援資金融資などの申請を行う生活困窮者の相談が急増

- ✓ 給付金等の申請時や生活再建のためのケースワーカーとの相談のあとで就労支援コーナーで職業相談を行う流れを徹底

ハローワークと市の個別相談ブースが隣り合っていて誘導がスムーズに！



ハロトレマ
スクも配布

就労支援コーナーへ誘導

ケースワーカーが同席する場合もあり

ハローワーク高崎

- ✓ 職業相談・職業紹介
- ✓ 電話による求人情報の提供
- ✓ 求職者支援訓練の案内

定期的なケース会議によりこまめに情報を共有
スピード感ある支援の実施

連携の結果...

効果

(結果等)

①支援対象者数

目標 180人 → 実績 263人(前年度比**59%UP!**)

②就職者数

目標 121人 → 実績 182人(前年度比**14%UP!**)

コロナ禍において支援対象者が大幅に増加したものの、課題を共有し役割分担をしながら支援をすることで**就職率69.2%**となった。

令和2年度
目標達成！

【市】

ハローワークのナビゲーターのお二人は、経験豊かなベテランなので、相談者に対して、時には厳しい助言もしてくれる。市のケースワーカーは若い職員も多いので、大変参考になりありがたいと感じている。生活相談・就労相談をワンストップで行うことができ、就労意欲の喚起にも繋がっている。

双方 の声

【HW】

生活相談と職業相談の連携により、求職者一人ひとりの問題点の把握が容易となった。
市とハローワークが文字通り一体となって支援を行うことにより、利用者の負担も少なく、スピード感をもって早期の再就職に繋げていくことができている。

日本一広大な面積を有する高山市

コロナ禍の中、ハローワークの巡回相談を継続して実施！

高山市

- ✓ 各支所庁舎内に職業相談のための会議室等を確保
- ✓ コロナ禍による会場閉鎖時も庁舎ロビー等に会場を設置して実施
- ✓ 住民への周知・広報（広報誌に掲載）



市の分庁舎会議室内に巡回相談ブースを毎月設置

- ✓ 住民サービスのため、ハローワークと市が連携した巡回相談を実施
- ✓ 高山市の9か所の支所において、ハローワーク相談員による職業相談等の窓口を月1回開設、求人情報の提供、職業相談、職業紹介を実施
- ✓ 地元の求人情報をフルタイム・パート別、職種別に作成して提供
- ✓ 地元企業の人材確保にも寄与

ハローワーク高山

- ✓ 就職支援ナビゲーターによる巡回相談
- ✓ 就職相談、雇用保険受給に関する相談等を実施
- ✓ 最新の求人情報をダウンロードしたモバイルパソコンによる求人情報の提供
- ✓ 求人情報誌の配布

観光業が盛んな高山市ではコロナ禍の影響は大きく、観光旅館や飲食店等の離職者や休業中の求職者が増加

連携の結果...

効果 (結果等)

①令和2年度実績

- * 利用者数 701人(前年度比18.0%増)
- * 相談件数 640件(前年度比22.1%増)
- * 就職件数 86件(前年度比21.8%減)

※新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光関係の離職者等により利用者数は増加。状況は厳しく就職件数は減少。

②住民からの声

- * 身近な場所で相談でき助かっている。手軽に相談できてありがたい。
- * 最新の求人情報が入手できるので、とても良い。など



双方 の声

【市】

コロナ禍による休職・離職が増える中、身近な場所で求人閲覧や職業相談ができると利用者からも好評を得ている。支所によって利用者の多・少はあるが、地域に定着してきており、今後も継続して実施していきたい。

【HW】

高山市では交通の利便性の問題もあり、巡回相談は地元住民の有効な求職活動の場。コロナ禍の中、利用者は増加しておりニーズは高い。1人でも多くの方の就職のため、これからも寄り添った相談に心掛けたい。

コロナ禍で求められる求職者・企業支援を国・県一体で実施！

福岡県

- ✓ 雇用情勢を踏まえ、センター独自の求人開拓専門員を配置
- ※平時はHW求人を活用
- ✓ 市町村ニーズを聴き取り、県内4地域それぞれでミニ面接会、出張相談を実施
- ✓ 人材不足分野の業界理解を深めるセミナーを実施
- ✓ 就職氷河期世代の正社員就職実現に向けた社会人インターンシップを実施

コロナ禍における雇用情勢・課題

- ・新規求人の大幅減
- ・ミスマッチ対策の重要性増



- ①県・HWそれぞれの強みを生かした求人の掘り起こし(良質求人の量的確保)
- ②センター利用者のニーズを踏まえた求人開拓
- ③人材不足分野への就職促進
- ④センター拠点地域(福岡都市圏)以外の地域へのきめ細かな支援
- ⑤就職氷河期世代への支援強化

ハローワーク福岡

- ✓ 求職者に対して幅広い選択肢を提供(福岡県が開拓した求人情報の活用)
- ✓ 県がコロナ対策で新たに実施するミニ面接会・出張相談・セミナーへの求職者の誘導
- ✓ 社会人インターンシップへの求職者の誘導→就職氷河期世代専門窓口への誘導



農業セミナー実地体験の様子

連携の結果...

双方の声

センターを通じた就職者2,194人(令和2年度実績)

効果

(結果等)

①ミニ面接会

県内市町において17回開催
参加企業74社、参加者160人

②出張相談

従来から実施している県内17ヵ所に加え、新たに9市町で追加実施

③人材不足分野のセミナー

建設、福祉・介護、農業、運輸、警備、販売等の分野別セミナーを10回実施

※①～③は令和2年11月から令和3年3月までの実績

【県】

HWの基本的なサービスが前提としてあり、普段から連携が取れていたからこそ、今回、県として、情勢の変化に応じて、県内4地域にも細かく目配りしながら新しい取組にチャレンジすることができた。**県の新たな取組と、HWの集客力を組み合わせることで、全体としての効果が高まった。**

【HW】

県の様々な事業と連携することでHW利用者の就職実現を高めることができた。また、ミスマッチ対策や就職氷河期世代支援を進めることができた。
今後も**県とHWのそれぞれの強み**を活かして、利用者の就職促進のため、より一層連携を強化していきたい。